

進路通信

伊丹市立天王寺川中学校第2学年

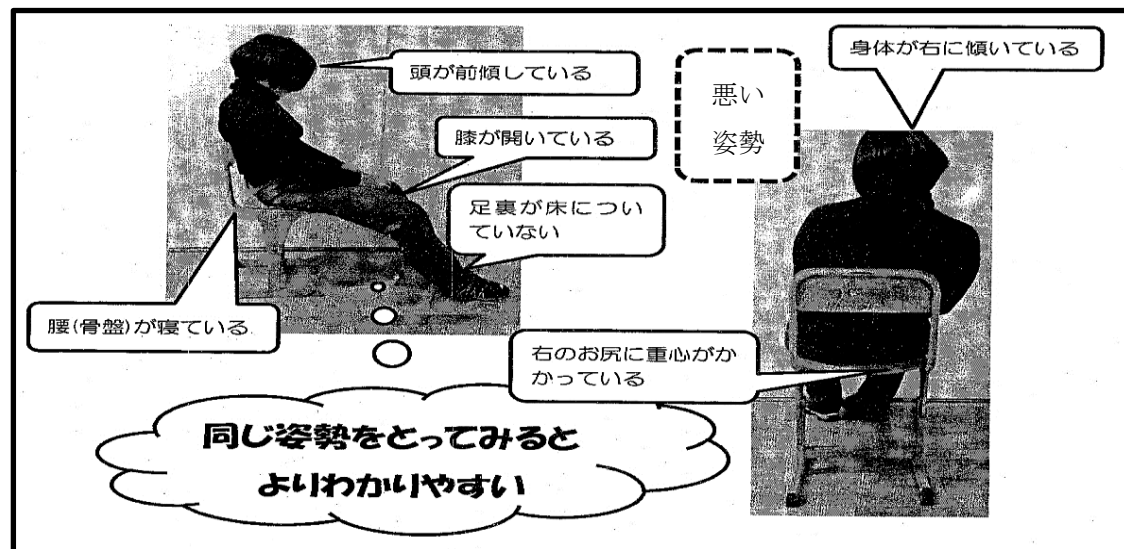
令和2年2月17日 第17号

～何事も姿勢から～

学習について進路通信を通して発信してきましたが、勉強の初歩的な基本である「姿勢」です。「中部教育ラボ」というホームページで次のようなことが紹介されています。

「悪い姿勢より良い姿勢の方が問題の正解率、解答率が良いとされています。この事実には根拠があり、客観的なデータにも現れております。ある姿勢と学力の関係を調査した研究によると、5年生における良い姿勢と悪い姿勢で計算問題を解く実験をしたところ、正解率が8.6%、解答率が8.1%、姿勢が良い方が数字があがったという結果が出ております。姿勢がよくなるだけで点数が上がるのであれば、姿勢を改善しようとする気がより出てきたのではないのでしょうか？長期的に姿勢を正すことで成績・学力アップを目指すこともできます。長期的な効果を考えるのであれば、身体に負担をかけることなく無意識的に正しい姿勢をとることが習慣化されていることが理想です。特に勉強時の座り方を意識し姿勢を正すことにより、勉強にふさわしい姿勢を身につけましょう。」

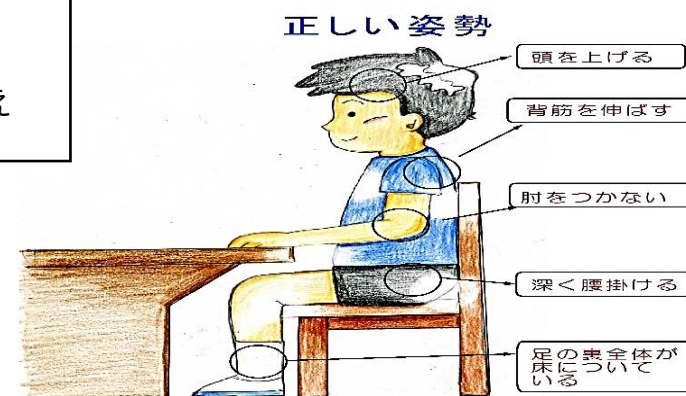
つまり、勉強の初歩的な基本である「姿勢」一つで学習効果が上がり、勉強が少しずつできるようになるのです。では良い姿勢と悪い姿勢はどんな姿勢なのでしょう。



図をみればよく分かりますが、誰が見ても悪い姿勢です。残念ながら授業をこのような姿勢で受けている生徒がいます。これでは学習効果が下がってしまいます。

学習するための 基本的な姿勢・心構え

- | | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|----------|----------|---------|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 授業の始まりは |
| 正しい姿勢で学習！ | 大きな声であいさつ | 起立時、イスは机に | チャイム席を守る | 授業の準備をする | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |



図をみればよく分かりますが、勉強をする際にとってもふさわしい姿勢です。当たり前だと思うかもしれませんが、意外とできていない人が多いのが現状です。

正しい姿勢をする理由は学習だけではなくありません。悪い姿勢を続けていると、骨格が変形していき、体にも支障が出て日々の生活で困ることになります。また、面接試験など入試の際には、相手に悪い印象しか与えません。また、その時だけ正しい姿勢で座ろうとしても、日頃出来ていないので正しい姿勢を継続して行うことができず、最後まで続かなくなります。その結果として、悪い評価に繋がります。

たかが姿勢、と思われるかもしれませんが、とても大切なことなので日頃から正しい意識していきましょう。

～質問に対する答え～ ※16号の続きになっております。ご了承ください。～

Q17.中学校卒業して進学した方が良いでしょうか？

A17.理由のご家庭や個人の価値観によって異なりますが、ここでは1つ理由を伝えておきます。将来やりたい仕事が出てきたときに、「〇〇の資格が必要だから資格を取りたい」場合があります。例えば保育士や看護師、救急救命士などは資格がなければその仕事に就くことができません。しかし、資格の一部は「高卒の資格」が必要になることや、「大卒の資格」が必要になることがあります。その場合、進学していなかったら資格は取ることができません。やりたいことが見つかったときに「資格が取れないから無理」と道が閉ざされないように進学をした方が有利です。他にも理由がありますので、一度インターネットで「中卒・高卒・大卒」の違いなどを調べてみましょう。